CSSセレクタ チートシート

AYA memo (https://z-z.main.jp/)

セレクタの詳細度

どのスタイルが当たるかは、詳細度と書かれた順（後勝ち）で判断される。
詳細度はセレクタの指定方法ごとに、以下の点数が加算されて求められる。

■ 詳細度の点数

高	!important	最優先	※非推奨
	style属性（style=""）	1000	※非推奨
	ID	100	
	クラス、属性、擬似クラス	10	
	要素名、擬似要素	1	
低	全称、結合子、否定擬似クラス	0	

■ 点数の計算例

p#sample → 1 + 100 = **101**, **#sample.cls** → 100 + 10 = **110**

複数セレクタの指定

カンマ区切りで OR 指定、区切りなしで AND 指定になる。
複数のセレクタを並べるこれ以外の記述は「子孫・兄弟」を参照。

セレクタ1, セレクタ2	それぞれのセレクタが表す要素に同じスタイルを指定（OR指定）
セレクタ1セレクタ2	複数のセレクタを同時に満たす要素にスタイルを指定（AND指定）
[属性1][属性2]	複数の属性指定を同時に満たす要素にスタイルを指定（AND指定）

代表的なセレクタ

■ 基本

*	全ての要素（全称セレクタ）
tagName	タグ名（タイプセレクタ）
.className	クラス名（クラスセレクタ）
#idName	id名

■ 属性

E[class]	指定の属性を持つ要素
E[class="hoge"]	属性の値が**完全一致**する要素
E[class~="hoge"]	属性の値がスペース区切りで列挙されている中のいずれかに完全一致する要素
E[class*="hoge"]	属性の値が**部分一致**する要素
E[class^="hoge"]	属性の値が**前方一致**する要素
E[class$="hoge"]	属性の値が**後方一致**する要素

■ 子孫・兄弟

E1 E2	子孫（**E1** 配下の**E2** 要素すべて）
E1 > E2	子（**E1** 直下の**E2** 要素）
E1 ~ E2	兄弟（**E1** より後の同階層の**E2** 要素）
E1 + E2	隣（**E1** の直後の同階層の**E2** 要素）

➡ E の兄弟要素（Eの親要素の子供たち）の n 番目 [疑似クラス]

of-type指定では、指定したタグだけを順に数える
前後や途中に他のタグが存在しても影響を受けない

E:first-of-type	最初の **E** 要素
E:last-of-type	最後の **E** 要素
E:nth-of-type(...)	先頭から　※n=0始まりの正の整数
E:nth-last-of-type(3)	後ろから **3** 番目の **E** 要素
E:only-of-type	**E** 要素が 1 つの場合の **E** 要素

odd/even	奇数／偶数
3	3 番目
3n	3 の倍数
n+3	3 番目以降
-n+3	最初の 3 つ

の **E** 要素

➡ E の兄弟要素（Eの親要素の子供たち）の n 番目 [疑似クラス]

child指定では、全ての子要素を順に数える
該当位置の要素が指定したタグの場合のみ対象となる

E:first-child	最初の要素（最初＝**E** の場合）
E:last-child	最後の要素（最後＝**E** の場合）
E:nth-child(...)	**...**番目の要素（**...**番目＝**E** の場合） ※ **...**部分は[:nth-of-type]と同様
E:only-child	要素数が 1 つの場合の **E** 要素

■ リンクの状態 [疑似クラス]

a:link	未訪問
a:visited	訪問済み
a:hover	ホバー状態
a:active	クリック状態

■ 代表的なform要素

input[type="text"]	テキストボックス
input[type="checkbox"]	チェックボックス
input[type="radio"]	ラジオボタン
textarea	テキストエリア
select	セレクトボックス

■ form要素の状態 [疑似クラス]

E:enabled /:disabled	有効／無効な要素（フォーカスを得られる）
E:checked	チェックされている要素
E:valid /:invalid	内容の検証に成功／失敗したform要素
E:in-range /:out-of-range	現在の値が min～max 内／外のinput要素
E:required /:optional	requiredが設定されている／いない要素
E:read-only /:read-write	ユーザーが編集できない／できる要素
E:focus	フォーカスを持つ要素
E:focus-within	自分 or 子孫がフォーカスを持つ要素

■ 他 [疑似クラス]

E:empty	空の（子要素が存在しない）要素 空白１つでも対象外、コメントはOK。 **:blank**は空白OKだが全ﾌﾞﾗｳｻﾞ非対応。 CSS4では**:empty**が空白OKになる。
E:target	ページ内リンク押下後のリンク先の要素 当セレクタの利用で、CSSのみで要素の表示／非表示を切り替えられる。 ※mozilla等のサンプルを参照
E:not(:target) 複数指定:not(div):not(p)	指定したセレクタに一致しない要素 （否定疑似クラス）

■ 疑似要素

E::before	要素の前に擬似要素を追加
E::after	要素の後に擬似要素を追加 ※beforeとafterはcontentが必須
E::first-letter	要素の中の最初の文字
E::first-line	要素の中の最初の行 ※first-*はブロック要素にのみ有効
E::selection	ユーザーが選択した文書